

令和3年度 4歳児 「5歳進級に向けて」

1. 期間 2月～3月

2. 設定の理由

1 学期に、好きな遊びの中で5歳児のごっこ遊びに招待してもらったり、5歳児のサッカーを見たり、と一緒に砂山で遊んだり、リレーや鬼ごっこをしたりして、5歳児に少しずつ親しみをもち始めている。また、忘れ物を届けてもらったり、こけた時に、「大丈夫？」と声をかけてもらったりして、5歳児を身近に感じたり優しさを感じたりしている子どももいる。

2 学期、運動会では、リズム表現でブリッジや側転の技に挑戦する姿、自分たちでリレーの用意をする姿、リレーで懸命に走り、バトンを繋ぐ姿など、慣れ親しんできた5歳児の頑張りをみて、憧れや来年への期待を感じた。また、5歳児がたき火をして、焼き芋を焼き、4歳児に届けてくれたり、5歳児のお店屋さんごっこに招待してもらい、5歳児の作ったいろいろなものを買うことを経験する中で、5歳児の気遣いを感じたり、楽しい思い出ができたりして、5歳児とのつながりをより感じてきている。

3 学期、5歳児が発表会に向けてグループで取り組んでいるのを見たり、発表会の前日に見せてもらったりして、馴染みのある5歳児も含めて、頑張っていることを感じたりすごいと思ったりするようになる。そして、代々最高学年である年長組の子どもたちが、自分たちの役割として取り組んでいるうさぎの世話を引き継ぐことになるころから、5歳児がもうすぐ幼稚園を修了すること、自分たちも年長組に進級することを意識するようになってくる。

そこで、進級に向けての取り組みとして、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了することを知って、大きくなった自分たちの成長を感じたり、誇らしく思ったり、年長組になることを楽しみにしたりする気持ちをもってほしい。そして、修了していく5歳児のために、お祝いの気持ちをもってしてあげたいと思うことができるよう、5歳児との思い出を振り返り、5歳児への様々な気持ちを感じながら、修了式に参加して、その思いを言葉にして伝える機会を作ったり、修了に伴う看板作りや贈り物作りを、心を込めてする機会を作ったりしたいと考える。

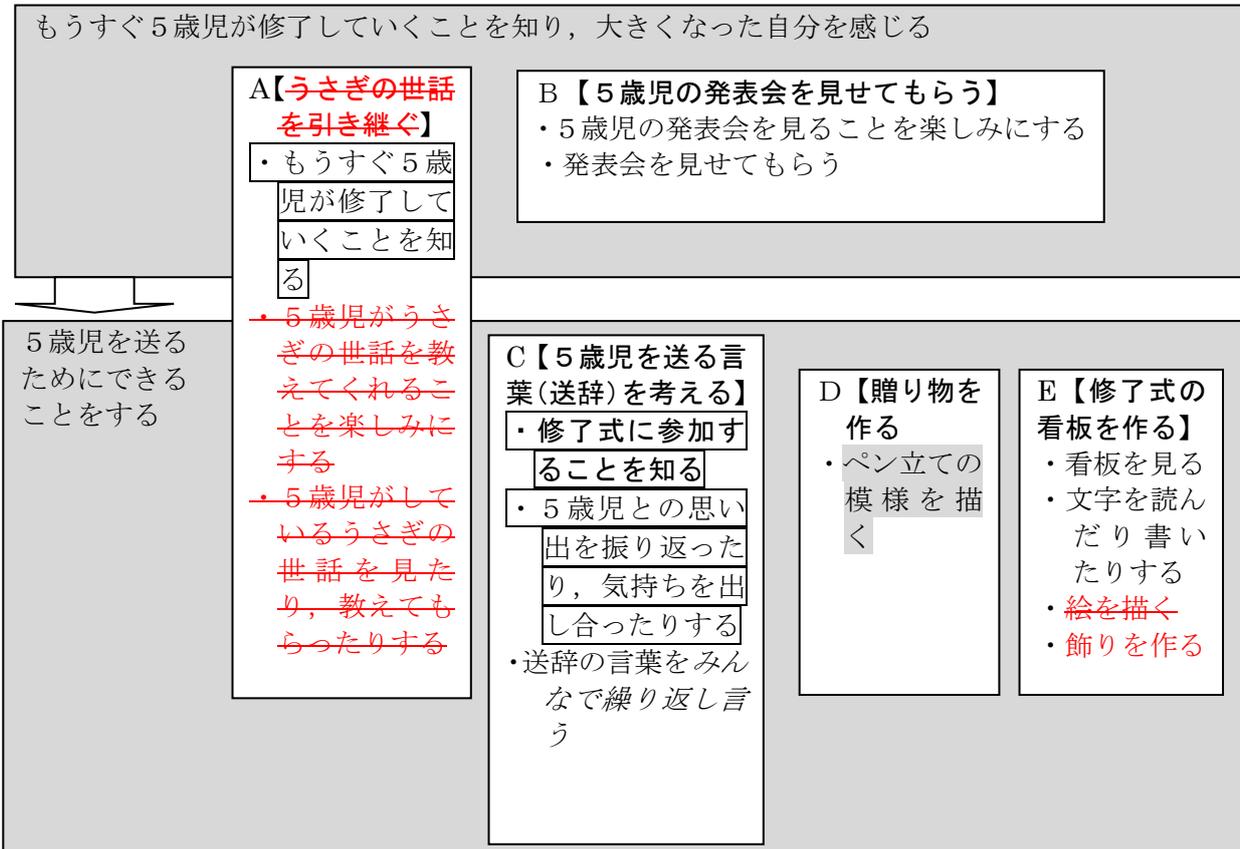
R2年度から、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、修了式には参加せず、保育時間中にお別れ会という形で年長児とお別れの機会を設けている。また、他学年との接触を控えるために、うさぎの世話の引き継ぎは年長児担任に解説してもらいながら、動画にて行なった。

3. ねらい

- | | |
|--|-------------|
| ① 5歳児がうさぎの世話の仕方を教えてくれることを楽しみにしたり、うさぎの世話ができるようになりたいと思ったり、5歳児の発表会を見ることや、4月から年長組になること、うさぎの世話をするを楽しみにしたりする。 | 自ら決める・選ぶ |
| ② もうすぐ5歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になることや、お別れ会修了式に参加を知り、大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しいと思ったりする。 | 自分に満足する |
| ③ うさぎの世話の仕方を教えてもらったことや、 5歳児への贈り物を作ったことを嬉しいと思う。 | 自分に満足する |
| ④ 5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを感じたり、5歳児に対しての感謝の気持ちを感じたりする。 | 他者という喜びを感じる |
| ⑤ 5歳児が今までうさぎの世話や焼き芋、お店やさんを頑張ってくれたことを思い出したり、発表会を見せてもらったり、一緒に遊んだりして、感じたり、うさぎの世話を教えてくれる5歳児の頑張りがや優しさを感じ、嬉しく思ったり憧れたりする。 | 他者のことを知る |

- ⑥ ~~お別れ会で修了式に参加して、お祝いと感謝の気持ちを伝えようと思う。~~ 自分のことを伝える
 ったり、伝えたいことを考えて言おうとしたりする。
- ⑦ 5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、送辞の言葉を心を込めて言おうとしたり、贈り物を作ってあげたいと思ったりする。 他者のことを考えて行動する
- ⑧ ~~5歳児の発表を見て、5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりする。~~ 他者を称賛する
- ⑨ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えられるように、言葉を覚えて言おうとしたり、友達と息を合わせようとしてたり、~~友達のしていることを見たり考えを聞いたり自分で考えたりして自分のできることを考えてしたり、必要だと思ふことをしようとしてたりする。~~ 人とものごとをすすめる
協力・共同する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑩ ~~うさぎの世話について関心をもち、居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、世話をしようとする。~~ 生き物・いのちをみつめる
- ⑪ 素敵なお模様、きれいな模様、楽しい模様など、思い描いた模様になるように、色や線の太さ細さを組み合わせて描くことを楽しむ。 造形にあらわす
- ⑫ 思い描く春の生き物や植物に近付くように、看板の飾り絵を作る描くことを楽しむ。 造形にあらわす
- ⑬ ~~お祝いの気持ちが伝わるように考えて、修了式の看板の絵を描いたり文字を書いたりしようとする。~~ メディアを活用する
看板のよさそのものを感じる様子は見られず。次年度検討をお願いします。

4. 展開





5歳児を送り、
大きくなった自分を感じながら
年長クラスへの期待をもつ

F【お別れ会を修子式に参加する】

- ・送る言葉（送辞）を言う
- ・年長児のお別れの言葉を聞く
- ・年長児の歌を聴く
- ・贈り物を渡す
- ・お別れをする

G【5歳児の環境を体験する】

- ・5歳児の園庭に行って遊ぶ
- ・5歳児の保育室を見せてもらう

A【うさぎの世話を引き継ぐ】 ※コロナウイルス対策のため動画にて引き継ぎ

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ5歳児が修了していくことを知る ・5歳児がうさぎの世話を教えてくれることを知る ・5歳児がしているうさぎの世話をしたり、教えてもらったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○もうすぐ5歳児が修了していくことを知り、大きくなった自分を感じる② ○5歳児が世話の仕方を教えてくれることを楽しみにしたり、うさぎの世話ができるようになりたいと思う① ○うさぎの世話について関心をもつ⑩ ○5歳児がしていることを見て、今まで頑張りに気付く⑤ ○うさぎの居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、しようとする⑩ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大きくなった自分を感じられるように、もうすぐ4歳のクラスが終わることや、同時に5歳児が修了していくことを話したり、自分たちが幼稚園でいちばん大きい組になることを話したり、教師が思う今までの子どもの頑張りを話したり、振り返ることで子どもが感じている気持ちに共感したりする。 ◎5歳児が世話の仕方を教えてくれることを楽しみにしたり、うさぎの世話ができるようになりたいと思えるように、幼稚園のうさぎについて話したり、うさぎがいつも元気なのは誰が世話をしているからかを尋ねたり、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了していくこと、自分たちが幼稚園でいちばん大きい組になることを話したりする。 ◎うさぎの世話について関心をもてるように、教師自ら関心をもって見る姿を見せたり、5歳児が世話をしているところを一緒に見たり、どんなことをしているか具体的に言葉にして聞かせたりする。 ◎5歳児の今までの頑張りに気付いたり、すごいと思ったりするように、うさぎの世話をしている5歳児の様子を一緒に見ながら、うさぎのために必要なことを考えながらしているところや、継続的にしているからうさぎが元気でいられることを話したり、世話の手順をよく考えているところや手際よさや丁寧にしている様子を伝えたりする。 *互いのしていることが見えやすく、世話の仕方について話を聞きいたり尋ねたりしやすいように5歳児、4歳児ともに、4、5人ずつのグループを作り、1グループずつ組み合わせる。 ◎世話の仕方について、4歳児が実際にやってみる

	<ul style="list-style-type: none"> ○うさぎの世話を教えてくれる5歳児の優しさを感じる⑤ ○うさぎの世話の仕方を教えてもらってできたことを嬉しいと思う③ 	<p>ことで分かっていけるように、5歳児が4歳児のそばについて一緒にするところを見守り、5歳児に対して、何のためにしているのかを4歳児に伝えることや、4歳児が自分でできるようにさせてあげることが促したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎5歳児の優しさを感じられるように、4歳児を気遣いながら話しているところや、丁寧に教えてくれているところなどを言葉にする。 ◎うさぎの世話の仕方を教えてもらってできたことを嬉しいと思えるように、教えてもらってどんな気持ちかを尋ねたり、5歳児になるからこそ任せてもらえることを話したりする。
--	---	--

B【5歳児の発表会を見せてもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児の発表会を見ることを楽しみにする ・発表会を見せてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児の発表会を見ることを楽しみにする① ○5歳児の発表会を見て、5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりする⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎発表会を見ることを楽しみにできるように、自分たちよりも先に迎える5歳児の発表会について、グループの友達と発表することやいろいろなプログラムがあることなど、自分たちの発表会との違いを話したり、教師の楽しいな気持ちを話したりする。 ◎5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりするように、していることの詳細を言葉にしたり、一緒に驚いたり、子どもの感動に共感したりする。

C【5歳児を送る言葉（送辞）を考える】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・修子式お別れ会に参加することを知る ・5歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする ・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う 	<ul style="list-style-type: none"> ○お別れ会を修子式に参加することを知り、大きくなった自分を感じる② ○5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを感じる④ ○5歳児に対しての感謝の気持ちを感じる④ ○5歳児に喜んでもらえ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大きくなった自分を感じられるように、幼稚園を修了していく5歳児を送るお祝いの会があることを話したり、在園児を代表して4歳児だけが参加するお別れ会があることを話したりする。 ◎5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出せるように、どんなことを一緒にしてきたかを具体的な遊びや生活、行事をあげながら一緒に思い出したり、嬉しかった気持ち、楽しかった気持ちを出し合ったりする場をもつ。 ◎感謝の気持ちを感じられるように、5歳児にもらって嬉しかったこと、ありがとうと言いたいことを、どんな場面だったかを含めて思い出す場をもち、子どもの気持ちに共感する。 *子どもたちの、5歳児への思いを修了式においてみんなで一緒に伝えられるように、送辞の言葉としてまとめる。 ◎送辞の言葉をお祝いの気持ちをもって心を込め

	<p>るように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、送辞の言葉を心を入れて言おうとする⑦</p> <p>○送辞の言葉を、みんなで心を入れて気持ちよく伝えられるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり自分で考えたりして自分のできることを考えてしたり、必要だと思うことをしようとしたりする⑨</p>	<p>て言おうと思えるように、修了式の場合は、5歳児に対して、みんなでおめでとうの気持ちで送り出す場であることを話したり、みんなの気持ちを集めた言葉を伝えることで、修了していく5歳児がどんな気持ちになってほしいかを尋ねたり一緒に考えたりする。</p> <p>◎自分のできることを考えてしたり、必要だと思うことをしようとするように、どうしたらみんなで心を入れて気持ちよく伝えられるか尋ね、考えを出している子どもの言葉を聞かせたり、考えようとしていることや必要だと思うことをしようとしていることを具体的に言葉にして褒めたりする。</p>
--	---	--

D【贈り物を作る】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ペン立ての模様を描く 	<p>○5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、贈り物を作ってあげたいと思う⑦</p> <p>○素敵な模様、きれいな模様、楽しい模様など、思い描いた模様になるように、色や線の太さ細さを組み合わせて描くことを楽しむ⑩</p> <p>○5歳児が喜んでくれる贈り物を作ったことを嬉しいと思う③</p>	<p>◎修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、贈り物を作ろうと思えるように、修了式に手渡す贈り物であること、どんな気持ちで受け取ってほしいか尋ねたり一緒に考えたりする。</p> <p>*贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になるように、絵具の色を選んでおく。</p> <p>*思い描いた模様になるように、組み合わせを様々に試せるように、用紙をたくさん用意しておく。</p> <p>◎思い描いた模様に近づくように描くことを楽しめるように、どんなイメージで描いているのかを尋ねたり、工夫しているところに感心したりする。</p> <p>◎贈り物が作れた嬉しさを感じられるように、教師が感じるそれぞれの素敵などを伝えたり、きっと5歳児が喜んでくれるであろう期待を伝えたりする。</p>

E【修了式の看板を作る】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・看板を見る ・文字を読んだり書いたりする ・絵を描く 	<p>○お祝いの気持ちが伝わるように考えて、修了式の看板の絵を描いたり文字を書いたりしようとする⑬*?</p> <p>○思い描く飾り絵に近づくように、作る描←ことを楽しむ⑭</p>	<p>◎修了式に立てるための看板であることを知り、お祝いの気持ちが伝わるように絵や文字を描いてみたいと思えるように、昨年度の看板を見て、文字の意味を伝えたり、幼稚園の遊びの振り返りや、幼稚園の自然を感じられるなど、5歳児がどんな絵で喜んでくれるか一緒に考えたりする。</p> <p>◎子どもが思い描く飾り絵に近づくよう作る描←ことを楽しめるように、どんなイメージで作っ描←ているのかを尋ねたり、工夫しているところに感心したりする。</p>

F【修子式お別れ会をするに参加する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・送る言葉（送辞）を言う ・贈り物を渡す ・お別れをする 	<ul style="list-style-type: none"> ○修子式お別れ会をに参加して、お祝いの気持ちを伝えようと思う⑥ ○お別れ会での自分達の頑張りを感じたり、年長児からの励ましてもらったりして修子式に、在園児代表として参加したことを誇らしく思う② 	<p>*環境の構成◎教師の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎修子式お別れ会でに参加して、お祝いの気持ちを伝えようと思えるように、今日が幼稚園での本当のもうすぐお別れであることを伝えたり、今まで4歳児として、5歳児のために準備してきたことを振り返ったりする。 ◎修子式お別れ会でに、在園児代表として参加年長児に喜んでもらったり、励ましの言葉をもらったりして嬉しく思ったりしたことを誇らしく思ったりするえるように、緊張しながらも何度も頑張って練習してきた送る言葉を言えたことや、5歳児に贈り物を渡して喜んでもらえたことなど、修子式お別れ会を振り返る場をもつ。

G【5歳児の環境を体験する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児の園庭に行き遊ぶ ・5歳児の保育室を見せてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ○もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思う② ○4月から年長組になることを楽しみにする① 	<p>*環境の構成◎教師の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思えるように、5歳児の園庭で遊ぶ機会をもつ。 ◎4月から5歳児になることを楽しみにできるように、年長組の園庭と一緒に遊びながら、固定遊具の楽しさを共有したり、保育室にあるものを一緒に見ながら、年中組の保育室との違いを尋ねたり、園庭の梅を見て梅干し作りをすることを知らせたりして、楽しい気持ちに共感する。